

新明和、搭乗橋64基受注

ベトナム新国際空港向け

新明和工業はベトナム・ドンナイ省で2025年以降に開港予定のロンタイン国際空港向けに、航空旅客搭乗橋を64基受注した。搭乗橋を航空機に自動装着する技術提案が主に評価され、全受注基のうち12基に同技術が採用される。同社が搭乗橋の完全自動装着システムを正式受注したのは同空港が初めて。26年に全基を納入する。空港のターミナルビルを建設するトルコ・ベトナムの共同企業体から受注した。完全自動装着システムは人工知能（AI）による画像認識で搭乗橋を機体まで走行させ、雨風を避ける屋根部分を航空機のドアに装着するまで自動化する。大阪国際空港とシンガポールのチャンギ空港が試験的に導入している。大阪国際空港では22年6月に運用を始めた。チャンギ空港も23年8月に運航中の航空機に対し遠隔操作による搭乗橋の自律型完全自動運転を実施した。